

## 【平成 29 年 12 月から平成 30 年 6 月までに北 6 階病棟にて出産をされた褥婦\*1 さん、及びご家族の方へ】

\*1：褥婦とは出産後間もない女性。産婦さんのことです。

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

総合周産期母子医療センターにおける産後うつ病のリスク因子の検討とケア

### 【研究背景・目的】

健やか親子 21（第 2 次）では切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策が課題とされており、メンタルヘルスケアの重要性が再認識されている。EPDS\*2 を用いた産後うつ病リスク因子については様々な先行研究が存在し、精神疾患既往や特定妊婦については一般的にリスク因子とされている。2017 年の当院の死産・中期中絶を除く総分娩件数は 519 件、母体搬送は 155 件、ハイリスク分娩は 217 件(42%)、分娩後に児が NICU に入院した件数 138 件(27%)であった。そこで、これらの要因が総合周産期母子医療センターである当院特有の産後うつ病のリスク因子になるのではないかと考え、当院特有のリスク因子を明らかにすること、および現在行っているケアの検討を目的とした。

\*2：EPDS とはエジンバラ産後うつ病質問票のことです。

### 【分析方法】

全褥婦の産科的要因（母体搬送・ハイリスク分娩・NICU 入院）を診療録・看護記録・EPDS 質問用紙より調査した。EPDS 回答時期は退院指導時に合わせた産後 3 日目とした。産科的要因として、「母体搬送」「ハイリスク分娩」「NICU 入院」の 3 項目に着目し、これらが EPDS 得点を高得点にするという仮説を立て、統計学的有意差検定を行った。手法は  $\chi^2$  二乗検定を用いて、 $P < 0.05$  を有意差ありと判定した。

## 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、倫理委員会承認後から平成30年11月15日です。
- ・対象：平成29年12月～平成30年6月に当院で出産した死産・中期中絶を除く全褥婦に対してEPDSを用いた自記式質問紙によるスクリーニングのデータを用いた。回答が得られた全褥婦を分析の対象とした。
- ・取得情報：EPDS、診療録、看護記録、助産録よりEPDS得点、総分娩件数、初産婦・経産婦の人数、母体搬送件数、緊急帝王切開・吸引分娩・誘発分娩件数、NICU入院件数、EPDS面談時の褥婦の意見

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 北6階病棟 師長 久保 佳子

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 北6階病棟 久保 佳子  
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83  
TEL：0948-22-3800（代表）